

令和4年度4月入学

帯広畜産大学大学院畜産学研究科

畜産科学専攻博士前期課程

学生募集要項

(外国人留学生特別選抜 (渡日前入試))

Application for Admission to the Master's Program of Animal Science and Agriculture

Graduate School of Animal and Veterinary Sciences and Agriculture

Obihiro University of Agriculture and Veterinary Medicine

Starting in April, 2022

Pre-Arrival Admission for International Students

試 験 日 程

| | | |
|-----------------------|-------------------------------|------------------|
| 出願資格審査申請期限 (該当者のみ) | 令和3年11月4日 (木) | |
| 出願期間 | 令和3年11月8日 (月) ~令和3年11月18日 (木) | |
| 試験実施日 | 英 語 | 出願時に外部試験成績を提出する※ |
| | オンライン 面接 | 令和3年11月30日 (火) |
| 合格発表日 | 令和3年12月7日 (火) | |
| 入学手続期間 | 令和4年3月7日 (月) ~令和4年3月22日 (火) | |

※ 英語外部試験については、平成31年4月1日以降に受験したもので、TOEIC L&R (650点以上) (TOEIC-IPも可)、TOEFL-iBT (67点以上)、IELTS (5.5以上) のいずれか一つ。

Entrance Examination Schedule

| | | |
|---|--|--|
| Deadline for authorization for qualified applicants (If applicable) | Thursday, November 4, 2021 | |
| Application period | From Monday, November 8, 2021 to Thursday, November 18, 2021 | |
| Examination | *English | Submit the original certificate of the exam (TOEIC L&R, TOEFL-iBT, or IELTS) when you apply. |
| | Online Interview | Tuesday, November 30, 2021 |
| Date of notification of admissions | Tuesday, December 7, 2021 | |
| Enrollment period | From Monday, March 7, 2022 to Tuesday, March 22, 2022 | |

*The test score must be taken after April 1, 2019.

TOEIC L&R (including TOEIC-IP): 650 or higher

TOEFL iBT: 67 or higher

IELTS Academic-Module: 5.5 or higher

目 次

| | |
|---|----|
| 1 募 集 人 員 | 1 |
| 2 出願資格・要件..... | 1 |
| 3 出願資格の認定（書類審査） | 2 |
| 4 障がい等のある志願者との事前相談 | 2 |
| 5 経済的支援制度について | 2 |
| 6 出 願 手 続 | 3 |
| 7 入学者選抜方法 | 5 |
| 8 試験期日及び試験場 | 5 |
| 9 合 格 発 表 | 5 |
| 10 入 学 手 続 | 5 |
| 11 個人情報取り扱いについて | 5 |
| ◎ 帯広畜産大学大学院畜産学研究科畜産科学専攻（博士前期課程）案内 | 6 |
| ◎ 出願書類の提出・問い合わせ先 | 15 |

Contents

| | | |
|----|--|----|
| 1 | Number of Students to be Admitted | 16 |
| 2 | Application Criteria | 16 |
| 3 | Authorization for Qualified Applicants | 17 |
| 4 | Advance Consultation for Applicants with Physical Disabilities | 17 |
| 5 | Financial Support | 17 |
| 6 | Application Procedure | 18 |
| 7 | Method of Selection | 20 |
| 8 | Time, Date and Location of Examination | 20 |
| 9 | Notification of Admission | 20 |
| 10 | Enrollment Procedures | 21 |
| 11 | Privacy Statement | 21 |
| | ©Description of the Master's Program | 22 |
| | ©Application and enquiries | 34 |

1 募集人員

| 専攻・課程 | コース | 募集人員 |
|---------------|--|------|
| 畜産科学専攻・博士前期課程 | 動物医科学コース 家畜生産科学コース 環境生態学コース 食品科学コース 農業経済学コース 農業環境工学コース 植物生産科学コース | 若干人 |

2 出願資格・要件

次の①、②及び③に該当する者

- ① 日本の国籍を有しない者で、外国に在住している者
 - ② TOEIC L&R (650点以上) (TOEIC-IPも可)、TOEFL-iBT (67点以上)、IELTS Academic-module (5.5以上)のいずれか一つを平成31年4月1日以降に受験し、取得している者
 - ③ 次のi～iiiのいずれかに該当する者
 - i 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者又は令和4年3月までに修了見込みの者
 - ii 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む）により、学士の学位に相当する学位を授与された者又は令和4年3月までに授与される見込みの者
- 【注1】
- iii 本学大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で22歳に達した者【注2】

【注1】： 大学教育修了までの学校教育の課程が16年に満たない国の大学卒業者で、出願資格③iiに該当しない場合は、出願資格③iiiの個別の入学資格審査が必要となります。

【注2】： 出願資格③iiiで出願する者は、「3 出願資格の認定（書類審査）」を参照してください。

3 出願資格の認定（書類審査）（該当者のみ）

上記「2 出願資格・要件」の③iiiで出願しようとする者は、出願に先立って出願資格審査を行いますので、下記の提出書類を提出期限までに提出してください。

なお、郵送の場合は必ず書留速達としてください。

| | |
|---------|---|
| 提出書類 | (1) 出願資格認定申請書 ※ (2) 最終学歴の卒業（修了）証明書 (3) 成績証明書（履修状況を証明する書類） (4) 研究歴証明書（研究期間，研究内容は必ず記載） (5) 研究成果資料 |
| 提出期限 | 令和3年11月4日（木） |
| 提出・問合せ先 | 〒080-8555 帯広市稲田町西2線11番地 帯広畜産大学 入試・教務課入学試験係 |

※ 出願資格認定申請書の様式は、本学ホームページに掲載しています。

帯広畜産大学 入試情報 <https://www.obihiro.ac.jp/grad-adm>

上記ウェブサイト内の「大学院入試」をご覧ください。

4 障がい等のある志願者との事前相談

本学に入学を志願する者で、障がい等のある者については、受験上及び修学上特別な配慮を必要とすることがありますので、下記の期限までに事前相談を行ってください（日常生活において、ごく普通に使用されている補聴器、松葉杖、車椅子等を使用して受験する場合も試験場設定や他の特別な配慮との関係から必ず事前に相談してください）。

| | |
|---------|---|
| 提出書類 | (1) 事前相談書 ※ (2) 医師の診断書 (3) その他障がいの状況がわかる書類（障害者手帳の写し等） |
| 提出期限 | 令和3年11月18日（木） |
| 提出・問合せ先 | 〒080-8555 帯広市稲田町西2線11番地 帯広畜産大学 入試・教務課入学試験係 |

※ 事前相談書の様式は、本学ホームページに掲載しています。

帯広畜産大学 入試情報 <https://www.obihiro.ac.jp/admissions>

上記ウェブサイト内の「障がいのある志願者との事前相談」をご覧ください。

5 経済的支援制度について

2022年度留学生受入れ促進プログラム予約制度（文部科外国人留学生学習奨励費）

【対象者】本研究科に入学予定の、学業、人物ともに優れ、かつ、経済的理由により就学が困難である私費外国人留学生。その他条件については日本学生支援機構のホームページをご確認ください。

https://www.jasso.go.jp/ryugaku/study_j/scholarships/shoureihi/tonichimaeyoyaku.html

【給付月額】48,000円

【支給期間】2022年4月から1年間

【応募方法】応募を希望する私費外国人留学生は、令和3年11月10日（水）までに下記連絡先までメールでご連絡ください。

【連絡窓口】学生支援課留学生係 メールアドレス：rgk@obihiro.ac.jp

6 出願手続

(1) 出願書類等

| 出願書類等 | | 摘 要 |
|-------|--|---|
| 1 | 入学志願票 受験票 写真票 | <p>*印欄以外の所定の欄はすべて記入してください。</p> <p>写真(縦4cm横3cm)は、出願前3か月以内に撮影した上半身・無帽・正面向きのもので、裏面に志望コース名・氏名を記入の上、写真票の所定の欄に貼ってください(受験時に眼鏡を使用する者は、必ず眼鏡を着用して撮影したものにしてください)。</p> |
| 2 | 検定料支払時の外国送金依頼書のコピー | 検定料(30,000円)を金融機関で払い込み、外国送金依頼書のコピーを提出してください。払い込み方法は4ページの(2)を参照してください。 |
| 3 | 研究計画書 | 大学院において行おうとする研究内容を記載してください。作成要領は4ページの(3)を参照してください。 |
| 4 | 志望理由書 | 本学大学院を志望した理由並びに日本での留学経験を日本や母国にどのように活かしたいと考えているかについて、A4用紙1枚以内で、英語で作成してください。 |
| 5 | 卒業証明書又は卒業見込証明書 | 原本を提出してください。 |
| 6 | 成績証明書 | 原本で厳封したものを提出してください。 |
| 7 | 推薦書 | 出身大学の長等の推薦書(任意様式、英語)で、人物、成績、課外活動、英語力等について記載されたものを提出してください。 |
| 8 | TOEIC公式スコアレポート, TOEIC公式認定証, IELTS成績証明書 | <p>以下のうち、いずれか一つの原本を提出してください。平成31年4月1日以降に受験したものに限ります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • TOEIC L&R 公式認定証 (650点以上) (TOEIC-IPも可) • TOEFL-iBT スコアレポート (67点以上) • IELTS Academic-module の成績証明書 (5.5以上) |

(2) **検定料 (30,000 円) の払い込み方法 (日本国外からの送金方法)**

金融機関で検定料：額面 30,000 円 (日本円) を次の要領に従って海外の金融機関より送金してください。

- ・電信送金
- ・振込方法：通知払
- ・支払銀行手数料：依頼人負担
- ・送金金額：30,000 円
- ・次の銀行口座に送金してください。

Receiving bank:

SHINKIN CENTRAL BANK
INTERNATIONAL OPERATIONS CENTER
SWIFT CODE: ZENBJPJT

Receiving bank's address:

8-1 KYOBASHI 3-CHOME, CHUO-KU, TOKYO JAPAN

Beneficiary's Account No:

0340900 with OBIHIRO SHINKIN BANK INADA BRANCH

Beneficiary's name:

OBIHIRO CHIKUSAN DAIGAKU

Beneficiary's Address:

11, NISHI 2, INADACHO, OBIHIRO, HOKKAIDO, 080-8555, JAPAN

- ・ **送金依頼書の連絡事項欄に必ず「PAYINFULL」と記入してください。**

検定料払込期間：令和3年11月1日(月)～令和3年11月18日(木)

※ 支払銀行手数料を含む全ての手数料は依頼人が負担してください。

注1： 受理した検定料は返還できません。ただし、次の場合に限り、申出により検定料相当額を返還します。

- ア) 出願しなかった場合
- イ) 出願書類が受理されなかった場合
- ウ) 二重に払い込んだ場合

※ 返還に関する問い合わせ先 帯広畜産大学 入試・教務課入学試験係 TEL 0155-49-5321

注2： 検定料が払い込まれていない場合は出願を受理できません。

(3) 研究計画書の作成要領

大学院で実施する研究について、主指導を希望する教員と必ず連絡を取って相談の上、作成してください。

英語で A4 版用紙 1 枚以内で作成してください。

研究計画書には以下の 3 つの内容を明確に記すこと。

1. 研究の背景と目的 (詳細に記すこと)
2. 研究の方法概略 (技法等の詳細な記述は必要なく、研究全体の流れを簡潔に記すこと)
3. 予想される研究結果 (詳細な記述は必要なく、研究目的に沿って簡潔に記すこと)

研究計画書の様式は、本学ホームページに掲載しています。

帯広畜産大学 入試情報 <https://www.obihiro.ac.jp/grad-adm>

上記ウェブサイト内の「大学院」のページをご覧ください。

(4) 出願方法及び出願期間

必ず「EMS」若しくは「書留」のエアメール便扱いにしてください。

なお、出願期限後に到着した出願書類等は受理しないので、郵便事情等を考慮して余裕を持って発送してください。

出 願 期 間：令和3年11月8日(月)～令和3年11月18日(木) (最終日17時必着)

- (5) 出願書類等の提出先
 帯広畜産大学 入試・教務課入学試験係
 〒 080-8555 帯広市稲田町西2線11番地
 なお、出願書類等は、返還することができません。

7 入学者選抜方法

英語 (TOEFL, TOEIC 又は IELTS) 及び面接 (インターネットを利用。研究計画書, 志望理由書, 推薦書, 成績証明書の内容を考慮します) を総合して行います。

| 科目名 | 配点 | 内容等 |
|---------|------|---|
| 英語 | 100点 | TOEIC L&R (TOEIC-IP を含む) 650 点以上, TOEFL iBT 67 点以上, IELTS 5.5 以上のスコア票又は公式認定証 (平成 31 年 4 月 1 日以降に受験したものに限る。) を提出するものとし, 得点は本学の定める基準により 80~100 点で換算します。 |
| オンライン面接 | 100点 | 複数の面接官による個人面接を実施します (実施言語は英語で約 15 分)。 |

8 試験期日及び試験場

| 実施期日 | 科目等 | 時間 |
|---------------|---------|-----------|
| 令和3年11月30日(火) | オンライン面接 | 出願後に調整します |

9 合格発表

- (1) 発表日時 令和3年12月7日(火) 10:00
 本学ホームページに合格者の受験番号を発表します。(ホームページアドレスは15ページ参照)
 (2) 合格者には, 合格通知書及び入学手続きに必要な書類を送付します。
 (3) 電話等による可否に関する問い合わせには, 応じられません。

10 入学手続

- (1) 入学手続期間 令和4年3月7日(月)~3月22日(火) (最終日17時必着)
 (2) 入 学 料 282,000 円
 (3) その他の経費
 学生教育研究災害傷害保険料等 (正課・課外活動中における不慮の災害事故による学生の傷害に対する救済措置) 2,470 円

11 個人情報の取扱いについて

- (1) 本学が保有する個人情報は, 「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」等の法令を遵守するとともに, 「国立大学法人帯広畜産大学保有個人情報管理規程」に基づき, 保護に万全を期しています。
 (2) 出願時にお知らせいただいた氏名, 住所等の個人情報については, 入学者選抜, 合格発表, 入学手続, 入学者選抜方法等における調査・研究及びこれらに付随する業務を行うために利用します。
 (3) 入学者選抜で得られた試験成績の個人情報は, 入学者選抜及び入学者選抜方法等における調査・研究を行うために利用します。
 (4) 上記(2)及び(3)の個人情報のうち, 合格者のみ, 入学後の教務関係 (修学指導等), 学生支援関係 (奨学金申請・授業料免除申請等) に関する業務及びこれらに付随する業務を行うために利用します。なお, 合格者には入学手続時に改めてお知らせします。

帯広畜産大学大学院畜産学研究科畜産科学専攻（博士前期課程）案内

本学のミッションは、知の創造と実践によって実学の学風を発展させ、「食を支え、暮らしを守る」人材の育成を通じて、地域および国際社会へ貢献することです。
このような理念・目標のもとに、教育ポリシー（方針）を以下のように定めています。

1 大学院畜産学研究科畜産科学専攻（博士前期課程）の教育ポリシー（方針）

○アドミッションポリシー（入学者受入方針）

帯広畜産大学大学院畜産学研究科畜産科学専攻（博士前期課程）では、「食の安全確保」をはじめとする農畜産学に関する課題解決能力と幅広い見識を備えた人材を育成するため、以下のような人を学生として求めています。そのために、入学試験では専門と語学に関する筆記試験と研究計画・能力を評価する口述試験を実施します。

1. 国際的な視野を持って行動でき、農畜産学に関する高度専門職業人を目指す人
2. 各コースの特定分野に関する学士課程までの基礎知識と基本的技術を身につけている人
3. 各コースで自ら研究計画を立案できる基礎的知識・技術を身につけている人
4. 獣医・農畜産融合の視点から、食の安全確保・生産性向上・環境保全に関する課題に高い関心を持ち、それらの課題解決に積極的に取り組みたい人

○ディプロマポリシー（学位授与方針）

帯広畜産大学大学院畜産学研究科畜産科学専攻（博士前期課程）では、教育課程で定められた授業科目を履修して所定の修了要件単位を修得し、動物医科学、家畜生産科学、環境生態学、食品科学、農業経済学、農業環境工学、植物生産科学等の農畜産学分野及びその学際分野における最新の知識と技術を駆使し、「食の安全確保」をはじめとする農畜産学に関する問題解決型の高度な研究能力と幅広い見識を備え、以下の能力を身につけた人に学位を授与します。

1. 倫理観：社会通念上や専門家として相応しい倫理観、道徳観を身につけている人
2. 課題設定・解決力：グローバル化を背景とした生命・食料・環境の分野の課題を自ら設定し、それに対する解決能力を身につけている人
3. 表現力・コミュニケーション能力：国際感覚を備えた思考・判断の過程を説明するために必要なプレゼンテーション能力を身につけている人
4. 専門的知識・技術：獣医・農畜産融合の視点から、本専攻に配置された各コースに関する高度専門職業人としての知識と技術を身につけている、または同コースの課題に関する研究者としての基礎的な能力を身につけている人

○カリキュラムポリシー（教育課程編成方針）

帯広畜産大学大学院畜産学研究科畜産科学専攻（博士前期課程）ディプロマポリシーに掲げた知識・技能等を修得させるために、以下の点に配慮して教育を行います。

1. 倫理観の養成：eラーニング等を用いた、倫理観を養成する科目を配置します。
2. 課題設定・解決力の養成：アクティブラーニングを用いた、論理的思考能力を磨き、食の安全確保・生産性向上・環境保全に関する課題設定・解決能力を養成する科目を配置します。
3. 国際感覚を備えた実践力の養成：グローバル社会で活躍するための英語力を修得するため、英語によるプレゼンテーション能力や論文作成能力を高める科目を配置するとともに、身につけた表現力・コミュニケーション能力を実践するためのインターンシップ、海外演習、研究発表に関する科目を配置します。
4. 豊かな教養と幅広い学術基盤の形成：豊かな教養を身につけるための共通教養科目及び高度な専門性を修得するための専攻コア科目を配置するとともに、専門性の高い知識を分野横断的に修得するために、他コース専門科目を選択科目として配置します。

2 各コースの教育ポリシー（方針）

動物物医科学コース

○養成する人材像

獣医師養成以外の学士課程を卒業した学生を受け入れ、基礎生物学や農畜産学の知識を基に、基礎動物医科学、動物病態学、動物感染症学、病因制御学、さらに動物臨床科学に関する知識を提供し、動物に関する様々な知識を社会に還元できる高度専門職業人を養成する。

○アドミッションポリシー（入学者受入方針）

以下のような人材を求めます。

1. 基礎動物医科学、動物病態学、動物感染症学、病因制御学、動物臨床科学に関する高度な知識及び技術及び研究能力を身につけ、動物医科学的観点から社会への貢献を目指す人
2. 基礎生物学や農畜産学に関する学士課程までの基礎知識と基本的技術を身につけている人
3. 基礎生物学に関する基礎的知識と基本的技術を踏まえて、動物医科学分野で自ら研究計画を立案できる人
4. 基礎生物学や農畜産学の諸問題について、知識や情報をもとにして、筋道を立てて考え、その結果を説明できる人

○ディプロマポリシー（学位授与方針）

以下の能力を備えた人に学位を授与します。

1. 倫理観：動物医科学の知識や社会活動に対する深い理解に基づいた倫理観・道徳観を身につけている人
2. 課題設定・解決力：動物医科学分野における課題を自ら設定し、それに対する解決能力を身につけている人
3. 表現力・コミュニケーション能力：他者の思想や意見を尊重した上で、動物医科学分野について、自身の思想や意見を的確に表現し、意見を交わすためのプレゼンテーション能力・コミュニケーション能力を身につけている人
4. 専門的知識・技術：基礎生物学や農畜産学の知識を土台に、基礎動物医科学、動物病態学、動物感染症学、病因制御学、さらに動物臨床科学等動物医科学に関する幅広い専門知識とそれを社会において応用、発展させていく能力を身につけている人

○カリキュラムポリシー（教育課程編成方針）

伴侶動物、産業動物、実験動物、野生動物といった様々な動物を対象として、基礎、病態、感染症、病因制御、動物臨床科学等関連の動物医科学に関する幅広い専門分野を学ぶための科目を配置します。

家畜生産科学コース

○養成する人材像

家畜をはじめとする動物の生体機能、育種、繁殖、栄養、管理等に関する広範かつ体系的な知識や技術を身につけ、畜産・生命科学分野の様々な問題に柔軟に対応できる高度専門職業人、または畜産・生命科学分野の課題について研究できる基礎的な能力を身に付けた研究者を養成する。

○アドミッションポリシー（入学者受入方針）

以下のような人材を求めます。

1. 家畜やその生産管理に関する高度な知識と技術、研究能力を身につけ、生命科学や畜産学の観点から社会貢献を目指す人
2. 家畜生産科学に関する学士課程までの基礎知識と基本的技術を身につけている人
3. 家畜やその生産管理に関する高度な知識と技術、研究能力を身につけ、家畜生産科学分野で自ら研究計画を立案できる人
4. 家畜やその生産管理に関する諸問題について、知識や情報をもとにして、筋道を立てて考え、その結果を説明できる人

○ディプロマポリシー（学位授与方針）

以下の能力を備えた人に学位を授与します。

1. 倫理観：家畜生産科学の知識や社会活動に対する深い理解に基づいた倫理観・道徳観を身につけている人
2. 課題設定・解決力：畜産や生命科学分野における課題を自ら設定し、それに対する解決能力を身につけている人
3. 表現力・コミュニケーション能力：他者の思想や意見を尊重した上で、家畜生産科学分野について、自身の思想や意見を的確に表現し、意見を交わすためのプレゼンテーション能力・コミュニケーション能力を身につけている人
4. 専門的知識・技術：家畜の生理や行動を理解しそれを遺伝的改良や生産性の向上へと繋げる基礎から応用ま

での体系的な知識と技術を身につけている人

○カリキュラムポリシー（教育課程編成方針）

畜産を従来の生産学的視点だけではなく動物福祉や生態系への配慮等を含めた広い視点で捉え、家畜の生理や行動を理解しそれを遺伝的改良や生産性の向上へと繋げる基礎から応用までの最新の知識と技術を修得する科目を配置します。

環境生態学コース

○養成する人材像

農畜産環境とそれを取り巻く自然環境に関する広範かつ体系的な知識を身につけ環境の保全・管理・利用に関する様々な問題に柔軟に対応できる高度専門職業人、または環境生態学分野の課題について研究できる基礎的な能力を身に付けた研究者を養成する。

○アドミッションポリシー（入学者受入方針）

以下のような人材を求めます。

1. 農畜産環境及び自然環境の保全と管理に関する幅広い知識、技術及び研究能力を身につけ、生態学的及び環境科学的観点から社会への貢献を目指す人
2. 環境生態学に関する学士課程までの基礎知識と基本的技術を身につけている人
3. 農畜産環境及び自然環境の保全と管理の知識、技術及び研究能力を身につけ、環境生態学分野で自ら研究計画を立案できる人
4. 農畜産環境及び自然環境の保全と管理の諸問題について、知識や情報をもとにして、筋道を立てて考え、その結果を説明できる人

○ディプロマポリシー（学位授与方針）

以下の能力を備えた人に学位を授与します。

1. 倫理観：環境生態学の知識や社会活動に対する深い理解に基づいた倫理観・道徳観を身につけている人
2. 課題設定・解決力：環境生態学における課題を自ら設定し、それに対する解決能力を身につけている人
3. 表現力・コミュニケーション能力：他者の思想や意見を尊重した上で、環境生態学分野について自身の思想や意見を的確に表現し、意見を交わすためのプレゼンテーション能力・コミュニケーション能力を身につけている人
4. 専門的知識・技術：環境を構成する様々な生命体の役割と機能、相互作用、及び生態系の保全・管理・利用に関する包括的かつ体系的な知識と技術を身につけている人

○カリキュラムポリシー（教育課程編成方針）

農畜産環境とそれを取りまく自然環境を保護から利用まで含めた広い視点で捉え、環境を構成する動物、植物、昆虫、微生物の役割と機能、相互作用、農畜産とのかかわり、そして生態系の保全に関する最新の知識を修得する科目を配置します。

食品科学コース

○養成する人材像

農畜産物を原料とした食品の製造・加工及びその機能性・安全性に関する広範かつ最新の知見や技術を提供するとともに、演習や研究活動を通じた専門教育を行うことにより、食品業界をはじめとしてバイオ産業においても活躍できる高度専門職業人、または食品科学分野の課題について研究できる基礎的な能力を身に付けた研究者を養成する。

○アドミッションポリシー（入学者受入方針）

以下のような人材を求めます。

1. 農畜産物を原料とした食品の製造・加工及びこれらの機能性・安全性に関する高度な知識及び技術及び研究能力を身につけ、食品科学的観点から社会への貢献を目指す人
2. 食品科学に関する学士課程までの基礎知識と基本的技術を身につけている人
3. 農畜産物の加工・利用に関する高度な技術や食品のもつ様々な機能性に関する知識を踏まえて、食品科学分野で自ら研究計画を立案できる人
4. 食品の製造・加工及びこれらの機能性・安全性の諸問題について、知識や情報をもとにして、筋道を立てて考え、その結果を説明できる人

○ディプロマポリシー（学位授与方針）

以下の能力を備えた人に学位を授与します。

1. 倫理観：食品科学の知識や社会活動に対する深い理解に基づいた倫理観・道徳観を身につけている人

2. 課題設定・解決力：食品科学における課題を自ら設定し、それに対する解決能力を身につけている人
3. 表現力・コミュニケーション能力：他者の思想や意見を尊重した上で、食品科学分野について、自身の思想や意見を的確に表現し、意見を交わすためのプレゼンテーション能力・コミュニケーション能力を身につけている人
4. 専門的知識・技術：農畜産物の加工・利用及びそれらの機能性・安全性についての高度な知識と技術及び応用力を身につけている人

○カリキュラムポリシー（教育課程編成方針）

農畜産物を原料とした食品の製造・加工及びこれらの機能性・安全性に関して、分子レベルから工業生産レベルまでの広範かつ最新の知識と技術を学ぶための科目を配置します。

農業経済学コース

○養成する人材像

農業経済学を中心とする社会科学的視点から俯瞰できるような専門教育を行うことにより、フードシステムにおける特定課題の解決に向けた実践的方策を提示することができる高度専門職業人、または農業経済学分野の課題について研究できる基礎的な能力を身に付けた研究者を養成する。

○アドミッションポリシー（入学者受入方針）

以下のような人材を求めます。

1. 食料生産・流通・消費に関わる農業経済学や経営学の幅広い、高度な知識と技術を身につけ、農業経済学的観点から社会への貢献を目指す人
2. 農業経済学に関する学士課程までの基礎知識と基本的技術を身につけている人
3. 食料生産・流通・消費に関わる農業経済学や経営学の基礎的な知識と基本的な技術を踏まえて、農業経済学分野で自ら研究計画を立案できる人
4. 農業経済学及び経営学の諸問題について、知識や情報をもとにして、筋道を立てて考え、その結果を説明できる人

○ディプロマポリシー（学位授与方針）

以下の能力を備えた人に学位を授与します。

1. 倫理観：農業経済学の知識や社会活動に対する深い理解に基づいた倫理観・道徳観を身につけている人
2. 課題設定・解決力：農業経済学における課題を自ら設定し、それに対する解決能力を身につけている人
3. 表現力・コミュニケーション能力：他者の思想や意見を尊重した上で、農業経済学分野について、自身の思想や意見を的確に表現し、意見を交わすためのプレゼンテーション能力・コミュニケーション能力を身につけている人
4. 専門的知識・技術：地域の資源を利用し、食料の生産性向上や食の安全を支えるための農業経済に関する高度な知識と技術を身につけている人

○カリキュラムポリシー（教育課程編成方針）

わが国の食料基地と位置づけられる北海道十勝地域の資源活用と、持続可能な物質循環を踏まえ、食料生産・流通・消費に関わる経済学や経営学に関する分野の高度な知識と技術を修得させる科目を配置します。

農業環境工学コース

○養成する人材像

農業環境工学の理論と実践に基づく先進的な農業生産技術と環境保全を両立させるための技術体系に関する専門教育を行うことにより、農業農村工学分野や農業機械システム学分野で活躍できる高度職業専門人、または農業農村工学分野の課題について研究できる基礎的な能力を身に付けた研究者を養成する。

○アドミッションポリシー（入学者受入方針）

以下のような人材を求めます。

1. 農業工学的素養を基礎として、環境と調和した生産技術改善と地域環境保全の知識を身につけ、農業環境工学的観点から社会への貢献を目指す人
2. 農業環境工学に関する学士課程までの基礎知識と基本的技術を身につけている人
3. 生産技術改善と地域環境保全に関する基礎的な知識と基本的な技術を踏まえて、農業環境工学分野で自ら研究計画を立案できる人
4. 農業工学的素養を基礎として生産技術と地域環境の諸問題について、知識や情報をもとにして、筋道を立てて考え、その結果を説明できる人

○ディプロマポリシー（学位授与方針）

以下の能力を備えた人に学位を授与します。

1. 倫理観：農業環境工学の知識や社会活動に対する深い理解に基づいた倫理観・道徳観を身につけている人
2. 課題設定・解決力：農業環境工学における課題を自ら設定し、それに対する解決能力を身につけている人
3. 表現力・コミュニケーション能力：他者の思想や意見を尊重した上で、農業環境工学分野について自身の思想や意見を的確に表現し、意見を交わすためのプレゼンテーション能力・コミュニケーション能力を身につけている人
4. 専門的知識・技術：地域の資源を利用し、食料の生産性向上を支えるための生産技術や環境制御に関する高度な知識と技術を身につけている人

○カリキュラムポリシー（教育課程編成方針）

わが国の食料基地と位置づけられる北海道十勝地域の資源を活用し、持続可能な物質循環や地域資源を踏まえ、機械的・生物学的手法や土木技術手法による食料生産環境の改善に関する分野の高度な知識と技術を修得させる科目を配置します。

植物生産科学コース

○養成する人材像

作物生産を支える土壌管理から畑作物と飼料作物の育種と栽培、病害虫管理及び草地利用までについて、ラボワークでの基礎からフィールドワークでの実証に至る専門教育を行うことにより、農畜産業の基盤づくりを担える高度専門職業人、または植物生産科学分野の課題について研究できる基礎的な能力を身に付けた研究者を養成する。

○アドミッションポリシー（入学者受入方針）

以下のような人材を求めます。

1. 植物の生理、生態、遺伝や土壌に関する高度な知識をもとにした植物生産の量的・質的向上の高度な知識及び技術及び研究能力を身につけ、植物生産科学的観点から社会への貢献を目指す人
2. 植物生産科学に関する学士課程までの基礎知識と基本的技術を身につけている人
3. 栽培植物の改良や生産と土壌及び病害虫に関する知識や技術を踏まえて、植物生産科学分野で自ら研究計画を立案できる人
4. 植物生産の量的・質的向上の諸問題について、知識や情報をもとにして、筋道を立てて考え、その結果を説明できる人

○ディプロマポリシー（学位授与方針）

以下の能力を備えた人に学位を授与します。

1. 倫理観：植物生産科学の知識や社会活動に対する深い理解に基づいた倫理観・道徳観を身につけている人
2. 課題設定・解決力：植物生産科学における課題を自ら設定し、それに対する解決能力を身につけている人
3. 表現力・コミュニケーション能力：他者の思想や意見を尊重した上で、植物生産科学分野について、自身の思想や意見を的確に表現し、意見を交わすためのプレゼンテーション能力・コミュニケーション能力を身につけている人
4. 専門的知識・技術：地域の資源を利用し、食料の生産性向上を支えるための食料生産原理や生産技術に関する高度な知識と技術を身につけている人

○カリキュラムポリシー（教育課程編成方針）

わが国の食料基地と位置づけられる北海道十勝地域の資源を活用し、持続可能な物質循環や地域資源を踏まえ、植物の生理、生態、遺伝や土壌に関する高度な知識をもとにした植物生産の量的・質的向上に関する分野の高度な知識と技術を修得させる科目を配置します。

3 畜産衛生学位プログラムについて

畜産衛生学位プログラムとは、農作物・食品等の国境を越えた流通拡大を背景として企業等に求められている国際安全衛生基準の取得・維持に対応できる人材を育成するため、本学がこれまで旧畜産衛生学専攻において実践してきた「食の安全確保」に関する高度な専門教育を全コースの学生が履修可能な学位プログラムとして発展させたものです。

このプログラムでは、農畜産物をはじめとする食の安全衛生に関するマネジメントシステム等の専門教育を国際基準に適応した実習環境において行うことにより、優れた実践力及び応用力を身につけた畜産衛生の専門家を養成します。

本プログラム受講者は、博士前期課程の共通必修科目、共通選択科目を履修の上、プログラム必修科目・選択必修科目・「畜産衛生課題研究」（企業等研修）ないし所属コースの「特別研究Ⅱ」を履修する必要があります。

注1：「畜産衛生課題研究」（4単位）とは、修士論文に代わり、6週間以上の企業研修等を通じて課題研究を行うものです。本プログラム受講者で修士論文を作成する場合は、所属コースの「特別研究Ⅱ」（4単位）を履修します。

注2：本プログラム受講者は、1年次終了時に修士（農学）または修士（畜産衛生学）の学位選択を行います。

畜産衛生学位プログラム

○養成する人材像

HACCP システム専門家教育、六次産業化を目指した新加工技術の開発・製品開発に関する教育を実践的かつ体系的に行うことで、食品安全マネジメントシステムに関する知識及び技術を修得し、企業等と連携して、その知識・技術を現場へ応用できる人材を育成する。

○ディプロマポリシー（学位授与方針）

以下の能力を備えた人に学位を授与します。

畜産物をはじめとする食品の国際安全衛生基準での衛生管理・品質保証に関する高度かつ総合的な知識と技術を有し、優れた実践力及び応用力を身につけている人

○カリキュラムポリシー（教育課程編成方針）

国際安全衛生基準の食品安全マネジメントシステムに関する知識及び技術を実践的かつ体系的に学ぶ授業科目を配置します。さらに企業等と連携し、それらの知識・技術の現場への応用を目指す演習科目を配置します。

4 課程の修了及び学位の授与

本学大学院畜産学研究科畜産科学専攻（博士前期課程）に2年以上在学して所定の単位（通常のコースの場合は30単位以上、畜産衛生学位プログラムの場合は32単位以上）を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、修士論文又は成果報告の審査及び関連科目の最終試験に合格した者を課程の修了者とし、コースに応じて下記の学位を授与します。ただし、在学期間に関しては、優れた業績を上げた者については、研究科に1年以上在学すれば足りるものとします。

| 専攻名 | コース名 | 学位 |
|--------|-----------|------------------------|
| 畜産科学専攻 | 動物医科学コース | 修士（動物医科学）または修士（畜産衛生学）※ |
| | 家畜生産科学コース | 修士（農学）または修士（畜産衛生学）※ |
| | 環境生態学コース | |
| | 食品科学コース | |
| | 農業経済学コース | |
| | 農業環境工学コース | |
| | 植物生産科学コース | |

※ 修士（畜産衛生学）については畜産衛生学位プログラムの修了者のみ選択可

5 大学院畜産学研究科博士前期課程畜産科学専攻担当教員一覧

動物医科学コース

| 氏名 | 職名 | 研究分野 | |
|---------|-----|---------|--|
| | | 名称 | 内容 |
| 五十嵐 慎 | 教授 | 獣医寄生虫学 | 原虫の宿主細胞内寄生機構に関する研究 |
| 石井利明 | 教授 | 獣医薬理学 | 脳神経系における生理機能の発現や病態形成における分子機構の解明 |
| 石川 透 | 教授 | 細胞生理学 | 上皮膜輸送に関与するイオンチャネルおよびトランスポーターの細胞内調節機構と構造機能連関 |
| 小川 晴子 | 教授 | 獣医伝染病学 | 動物ウイルス病についての研究 |
| 河津 信一郎 | 教授 | 獣医寄生虫学 | 原虫ゲノム・タンパク質機能情報に基づいた新たなワクチン・治療法の開発 |
| 玄 学南 | 教授 | 獣医寄生虫病学 | 原虫感染に対する宿主防御免疫の解析と組換えワクチンの開発 |
| 古林 与志安 | 教授 | 獣医病理学 | 動物疾患の病理発生機序解明と診断法の確立 |
| 佐々木 基樹 | 教授 | 獣医解剖学 | 脊椎動物の機能形態学 |
| 鈴木 宏志 | 教授 | 実験動物学 | 発生工学による遺伝子の機能解析及び発生・生殖工学的技術開発 |
| 南 保 泰 雄 | 教授 | 馬繁殖学 | 1) 馬の臨床繁殖学 2) 繁殖生物学 3) 生殖内分泌学等に関する研究 |
| 西川 義文 | 教授 | 獣医寄生虫病学 | 家畜原虫病の疫学調査及びその制御法の確立 |
| ※古岡 秀文 | 教授 | 獣医病理学 | 神経筋疾患の病理, 感染症の病理(動物プリオン病, <i>Lawsonia</i> 感染症等) |
| 松井 基純 | 教授 | 獣医臨床繁殖学 | ウシの卵巣および子宮機能異常による繁殖障害の病態生理の解明 |
| 横山 直明 | 教授 | 獣医寄生虫病学 | 家畜原虫病の疫学調査及びその制御法の確立 |
| 滄木 孝弘 | 准教授 | 予防獣医学 | 牛と馬の生産に関わる疾病の予防法と早期検知法の開発 |
| 麻田 正仁 | 准教授 | 獣医寄生虫学 | 原虫の寄生機構に関する研究及び原虫病の疫学調査 |
| 上村 暁子 | 准教授 | 獣医外科学 | 1) 犬猫の軟部組織外科学 2) 犬猫の循環器学 3) 人工臓器・生体材料に関する研究 |
| 奥村 香世 | 准教授 | 細菌学 | 細菌の病原性分子機構の解明とその診断法の確立 |
| 久保田 彰 | 准教授 | 毒性学 | 人工化学物質の生体影響と作用機序に関する研究 |
| 白藤 梨可 | 准教授 | 獣医寄生虫学 | 1) マダニ生物学 2) マダニにおける原虫伝播機構 |
| 都築 直 | 准教授 | 画像診断学 | 産業動物に対する画像診断に関する研究 |
| 豊留 孝仁 | 准教授 | 獣医真菌学 | 1) 真菌症 2) マイコトキシン中毒 3) 食品真菌学 |
| 廣井 豊子 | 准教授 | 獣医公衆衛生学 | 病原細菌(食品有害細菌, 人獣共通感染症起因細菌)に関する細胞分子生物学的研究(病原性発現機序や診断・検出法の開発) |
| 福本 晋也 | 准教授 | 獣医寄生虫学 | ベクターにおける病原体感染成立機構 |
| 松本 高太郎 | 准教授 | 獣医内科学 | 動物の感染症の診断および治療に関する研究 |

※印の教員は定年のため、指導可能期間が令和5年3月31日までとなりますので、入学後の指導体制について事前に相談してください。

| 氏名 | 職名 | 研究分野 | |
|------|-----|---------|-------------------------------|
| | | 名称 | 内容 |
| 室井喜景 | 准教授 | 獣医薬理学 | 動物の本能行動を司る神経機構の解明 |
| 山崎栄樹 | 准教授 | 食品衛生学 | 食品有害微生物検査法の構築 |
| 茅野光範 | 講師 | 生物統計学 | 医学, 農学に関する統計学と応用研究 |
| 近藤大輔 | 助教 | 獣医解剖学 | 脊椎動物の中樞神経系と嗅覚器の解剖組織学的研究 |
| 菅沼啓輔 | 助教 | 獣医寄生虫病学 | 動物トリパノソーマ病制御法の開発 |
| 武田洋平 | 助教 | 感染症学 | ウイルス感染症制御に関する研究 |
| 渡邊謙一 | 助教 | 獣医病理学 | 動物疾病の病理診断, 蛋白コンフォメーション病に関する研究 |

家畜生産科学コース

| 氏名 | 職名 | 研究分野 | |
|------------------------------|-----|------------------|--|
| | | 名称 | 内容 |
| 口田圭吾 | 教授 | 家畜育種学 | 肉用牛の客観的評価値をベースとした統計遺伝学 |
| 手塚雅文 | 教授 | 生殖生理学 | 家畜の卵巣生理, 卵子成熟, 受精, 胚発生に関する研究 |
| 西田武弘 | 教授 | 家畜飼養学 | 反芻家畜の栄養生理および飼料評価 |
| 宮本明夫 | 教授 | 家畜繁殖学 | 受胎性に関わる免疫機能: 精子・初期胚と母体の生殖器官のクロストーク |
| Acosta Ayala Tomas Javier | 准教授 | 家畜生産学・家畜防疫 | 家畜防疫学・現場における牛生産性効率の向上 |
| 川島千帆 | 准教授 | 家畜栄養学・繁殖学 | 1) 周産期の栄養代謝状態と繁殖機能に関する研究 2) 妊娠期の母体と胎子の栄養代謝に関する研究 |
| 草場信之 | 准教授 | 家畜衛生学 予防獣医学 | 1) 家畜衛生学 (子牛の管理, 疾病予防および治療) 2) 乳房炎防除 (予防と治療) |
| 瀬尾哲也 | 准教授 | 家畜行動学・アニマルウェルフェア | 家畜の行動およびアニマルウェルフェアに関する研究 |
| 萩谷功一 | 准教授 | 家畜育種学 | 量的遺伝学を基礎とした乳用牛の遺伝的改良 |
| 花田正明 | 准教授 | 草地利用学 | 草類・農産加工副産物などの地域飼料資源からの家畜生産の生産効率改善ならびに持続性向上についての教育・研究 |
| 松長延吉 | 准教授 | 家畜生理学 | 成長に関する代謝ホルモン, 血液中間代謝物 |
| 後藤達彦 | 助教 | 家畜遺伝育種学 | 1) 多様なニワトリを用いた表現型の遺伝的基盤の解析 2) 鶏卵の成分に与える遺伝および環境要因の探索 |
| 福間直希 | 助教 | 消化管微生物学 家畜栄養学 | 動物の健康や生産性に寄与する消化管微生物に関する研究 |
| 村西由紀 | 助教 | 家畜生体機能学 | 動物の発生生物学と細胞運命決定に関する研究 |

環境生態学コース

| 氏名 | 職名 | 研究分野 | |
|------|-----|---------|---------------------------------------|
| | | 名称 | 内容 |
| 押田龍夫 | 教授 | 野生動物学 | 哺乳類の生態学および系統地理学的研究 |
| 柳川久 | 教授 | 野生動物管理学 | 人と野生動物の軋轢解消 |
| 浅利裕伸 | 准教授 | 野生動物管理学 | 開発による野生動物への影響と保全, 獣害, 樹上性哺乳類の生態に関する研究 |
| 熊野了州 | 准教授 | 昆虫生態学 | 昆虫の行動生態学および個体群生態学 |

| | | | |
|-------|-----|-------|--|
| 橋本 靖 | 准教授 | 菌類生態学 | 森林や農地における植物に共生するカビ・きのこ類の生態学的研究 |
| 山内 健生 | 准教授 | 昆虫分類学 | 1) 昆虫標本を活用した分類学の研究 2) 昆虫を用いた環境評価に関する研究 3) 衛生害虫に関する研究 |
| 赤坂 卓美 | 助教 | 保全科学 | 開発からの自然生態系の保全と共存戦略の開発。外来種および鳥獣害に関する研究、および、生物多様性維持機構の解明に関する研究 |
| 小山 耕平 | 助教 | 植物生態学 | 森林・農地における野生および栽培植物の生態・生理、植物と動物の相互作用（食害・防御・送粉・種子散布など） |

食品科学コース

| 氏名 | 職名 | 研究分野 | |
|--------|-----|-----------|------------------------|
| | | 名称 | 内容 |
| 池田 新矢 | 教授 | 食品・生物化学工学 | 食品の品質および構造機能相関に関する研究 |
| 大和田 琢二 | 教授 | 応用微生物学 | 植物と微生物の共生に関する研究 |
| 木下 幹朗 | 教授 | 食品機能学 | 食品成分中における機能性脂質の生化学的研究 |
| 島田 謙一郎 | 教授 | 食肉科学 | 食肉科学に関する応用研究 |
| 渡辺 純 | 教授 | 食品機能学 | 食品の健康機能性発現機構に関する研究 |
| 菅原 雅之 | 准教授 | 応用微生物学 | 醸造微生物と植物共生細菌に関する研究 |
| 中村 正 | 准教授 | 酪農科学 | 乳の加工・利用に関する応用研究 |
| 韓 圭鎬 | 准教授 | 食品科学 | 生物資源の健康機能性に関する研究 |
| 福田 健二 | 准教授 | 食品科学 | 乳タンパク質および乳酸菌の機能性に関する研究 |
| 三上 奈々 | 助教 | 食品科学 | 食肉科学, 食品栄養に関する研究 |
| 山下 慎司 | 助教 | 食品生化学 | 食品成分中における資質の機能性研究 |

農業経済学コース

| 氏名 | 職名 | 研究分野 | |
|--------|-----|-------|--|
| | | 名称 | 内容 |
| 耕野 拓一 | 教授 | 農業経済学 | 1) 経済疫学 2) 開発経済学 3) 畜産開発と貧困削減 |
| 仙北谷 康 | 教授 | 農業経済学 | 1) 農場における衛生管理高度化の経済分析 2) 農産物流通の比較構造分析 |
| 岩本 博幸 | 准教授 | 農業経済学 | 1) 農業環境の経済評価研究 2) 畜産業における外部不経済の内部化に関する研究 3) 地域資源評価に関する研究 |
| 河野 洋一 | 助教 | 農業経営学 | 1) 経営者能力 2) 意思決定情報解析 3) 伝統産業における経営戦略 |
| 窪田 さと子 | 助教 | 農業経済学 | 1) 食品衛生の経済分析 2) 風評被害とリスクコミュニケーション |

農業環境工学コース

| 氏名 | 職名 | 研究分野 | |
|-------|-----|----------|--|
| | | 名称 | 内容 |
| ※梅津一孝 | 教授 | 生物資源工学 | 畜産におけるエネルギー及び窒素循環の構築を目的とした高度エネルギー変換発酵法並びに窒素化合物の利用法開発 |
| ※岸本正 | 教授 | 農業機械学 | 1) 農用車両走行装置の動力学的特性の解析 2) 家畜ふん尿の土壌還元技術に関する研究 |
| 宗岡寿美 | 教授 | 農業農村工学 | 1) 農林地流域の河川水質環境と土地利用評価 2) 斜面の保全と緑化工技術の応用 |
| 木村賢人 | 准教授 | 農業気象学 | 1) 雪氷冷熱を利用した農業施設に関する研究 2) 冷熱資源の分布特性とその利用適地に関する研究 |
| 宮竹史仁 | 准教授 | 生物資源循環工学 | 堆肥化およびバイオマス資源循環に関する理論と技術 |

※印の教員は定年のため、指導可能期間が令和5年3月31日までとなりますので、入学後の指導体制について事前に相談してください。

植物生産科学コース

| 氏名 | 職名 | 研究分野 | |
|-------|-----|--------------|---|
| | | 名称 | 内容 |
| 加藤清明 | 教授 | 植物分子育種学 | 植物育種における分子的基础と応用 |
| 小池正徳 | 教授 | 昆虫病理学 | 昆虫寄生性菌類による生物的防除 |
| 谷昌幸 | 教授 | 土壌学 | 農耕地における土壌肥沃度の評価と改善に関する研究 |
| 平田昌弘 | 教授 | 牧野生態学・文化人類学 | 1) 乾燥地での牧野生態系と環境保全の研究 2) 乾燥地での牧畜生産と乳文化論の研究 |
| 秋本正博 | 准教授 | 作物学 | 食用作物、および飼料作物の栽培法の改善 |
| 大西一光 | 准教授 | 植物育種学 | 作物の量的形質に関する遺伝育種学的研究 |
| 相内大吾 | 助教 | 応用昆虫学 | 病原体媒介性昆虫の防除研究 |
| 春日純 | 助教 | 植物生理学 | 植物の非生物ストレスへの適応機構 |
| 木下林太郎 | 助教 | 土壌学 環境情報学 | 農耕地土壌の肥沃度評価と改良に関する研究 |
| 森正彦 | 助教 | 植物生産学 | 作物の生理形態的特性に関する研究 |

出願書類の提出・問い合わせ先

〒080-8555 帯広市稲田町西2線11番地
 帯広畜産大学 入試・教務課入学試験係
 TEL 0155-49-5321 (入学試験係直通) (月～金 8:30～17:15)
 E-mail nyushi@obihiro.ac.jp

帯広畜産大学ホームページのご案内

ホームページには、入試情報、各専攻の紹介、大学の概要等が載っています。
 アドレスは、次のとおりです。 <https://www.obihiro.ac.jp/>

1. Number of Students to be Admitted

| Program | Specialty | Number of students to be admitted |
|--|-----------------------------------|--|
| | | Pre-Arrival Admission for International Students |
| Master's Program of Animal Science and Agriculture | Veterinary Life Science | Limited |
| | Animal Production | |
| | Ecology and Environmental Science | |
| | Food Science | |
| | Agricultural Economics | |
| | Engineering for Agriculture | |
| | Plant Production Science | |

2. Application Criteria

To apply for the Special Selection for International Students, one must meet the criteria ①, ② and ③

- ① Those who don't hold Japanese nationality and reside abroad.
- ② Those who took any of the following exams, TOEIC L&R (including TOEIC-IP): 650 or higher, TOEFL iBT: 67 or higher, and IELTS Academic-Module: 5.5 or higher, after April 1, 2019.
- ③ A person who meets one of the items i~iii below.
 - i. Those who have successfully completed 16 years of formal education abroad or are expected to do so on or before March 31, 2022.
 - ii. Those who have been conferred a degree equivalent to a bachelor's degree on or before March 31, 2022, through attending an overseas university or other overseas school (limited to those whose education and research activities have been evaluated by persons who have been certified by the relevant country's government or a related institution, or have been separately designated by the Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology as being equivalent to such) and graduated from a program that requires 3 or more years to complete. [Note 1]
 - iii. Those who are 22 years old or older, and recognized in the preliminary selection by the Obihiro University of Agriculture and Veterinary Medicine Graduate School as having equal to or higher academic ability than persons who are graduates of a university or college. [Note 2]

Note 1 : Applicants from countries in which it takes less than 16 years to complete formal education to the university level who don't satisfy criteria ③ ii above need to choose the preliminary selection specified in ③ iii

Note 2 : Applicants who satisfy criteria ③ iii need to refer to "3. Authorization for Qualified Applicants" on page 17.

3. Authorization for Qualified Applicants (If applicable)

Those who will apply under the application criteria ③ iii have to be authorized as qualified applicants. Submit the documents in the table below by the deadline. If you send the documents by mail, use registered express mail.

| | |
|---------------------|---|
| Documents to submit | (1) Application form for qualified applicant authorization* (2) Graduation/completion certificate from the last school you attended (3) Academic transcript (4) Research certificate (including period of time and contents of your research) (5) Materials from research results |
| Deadline | Thursday, November 4, 2021 |
| Submit to: | Entrance Examination Office Obihiro University of Agriculture and Veterinary Medicine 11 Nishi 2, Inadacho, Obihiro, Hokkaido 080-8555, Japan |

*The application form for the authorization for qualified applicants is available on our website at <https://www.obihiro.ac.jp/en/grad-adm>

4. Advance Consultation for Applicants with Physical Disabilities

Applicants with physical disabilities are advised to consult with the Entrance Examination Office by the deadline below, as special consideration may be necessary for taking the examination or studying. Those who use a hearing aid, crutches, or a wheelchair are also advised to consult the Entrance Examination Office, as special arrangements at the examination sites and other locations may be necessary.

| | |
|---------------------|--|
| Documents to submit | (1) Application for Consultation * (2) Medical Certificate (3) Other documents that show the conditions of disabilities (e.g., a copy of the disability certificate) |
| Deadline | Thursday, November 18, 2021 |
| Submit to: | Entrance Examination Office Obihiro University of Agriculture and Veterinary Medicine 11 Nishi 2, Inadacho, Obihiro, Hokkaido 080-8555, Japan |

*The application form for consultation is available on our website at <https://www.obihiro.ac.jp/en/grad-adm>

5. Financial Support

The Monbukagakusho Honors Scholarship for Privately-Financed International Students 2022

【Eligibility】 Privately-financed international students with excellent academic and character records who are planning to enrolled in graduate school and are facing financial difficulties. For other requirement, please see the website of Japan Student Services Organization (JASSO).

https://www.jasso.go.jp/ryugaku/study_j/scholarships/shoureihi/tonichimaeyoyaku.html

【Monthly stipend】 48,000 yen per month

【Scholarship period】 1 year (From April 2022 to March 2023)

【Method of application】 Please contact the section in charge below by Wednesday, November 10, 2021.

【Contact】 Student Services Section, International Student Affairs. Email: rgk@obihiro.ac.jp

6. Application Procedure

(1) Application documents

| Application documents | | Summary |
|-----------------------|--|--|
| 1 | Application form, exam admission card, and photograph card | Fill out the prescribed form except columns marked with. * The photo (4 cm high x 3 cm wide) must have been taken within 3 months prior to application. The portrait must be a full face, front view, without a hat, and wearing glasses if you expect to do so at the exam. Write your full name and the Specialty you are applying for on the back of the photo and glue it to the designated spot. |
| 2 | A photocopy of the Telegraphic Transfer Application Form | The amount of 30,000 yen for the examination fee must be transferred from a financial institution. A photocopy of the Telegraphic Transfer Application Form must be submitted with the application documents. See (2) Examination fee on Page 19. |
| 3 | Research proposal | Describe the research you intend to do in the Master's Program. See (3) Guideline of research proposal on Page 19. |
| 4 | Statement of purpose | Describe why you chose our Mater's Program and what kinds of things do you think you can contribute to Japan and your home country through your experience of studying in Japan within one A4 sheet in English. |
| 5 | Certificate of graduation, or certificate of expected graduation | Must be original. |
| 6 | Academic transcript | Must be original and sealed. |
| 7 | Letter of recommendation | Should be described applicant's personality, grades, extracurricular activities, English proficiency, etc. by dean or person of equivalent status in college you attended. |
| 8 | TOEFL Examinee Score Reports or TOEIC Official Score Certificate or IELTS Test Report Form | Submit the original certificate of one of the following exams. The test score must be taken after April 1, 2019. TOEIC L&R (including TOEIC-IP): 650 or higher TOEFL iBT: 67 or higher IELTS Academic-Module: 5.5 or higher |

(2) **Examination fee (Remittance from abroad)**

The amount of 30,000 yen for the examination fee must be transferred from a financial institution following the instructions below.

- Telegraphic transfer
- Advise and pay
- Applicant pays the transaction charge
- Amount: ¥30,000(yen)
- Transfer to:

Receiving bank:

SHINKIN CENTRAL BANK
INTERNATIONAL OPERATIONS CENTER
SWIFT CODE: ZENBJPJT

Receiving bank's address:

8-1 KYOBASHI 3-CHOME, CHUO-KU, TOKYO JAPAN

Beneficiary's Account No:

0340900 with OBIHIRO SHINKIN BANK INADA BRANCH

Beneficiary's name:

OBIHIRO CHIKUSAN DAIGAKU

Beneficiary's Address:

11, NISHI 2, INADACHO, OBIHIRO, HOKKAIDO, 080-8555, JAPAN

- Put **“PAY IN FULL”** in the **“Message to payee”** space in the remittance application form.

Payment Period: From Monday, November 1, 2021 to Thursday, November 18, 2021

***All handling fees including transaction charges are to be paid by the applicant.**

Note1: The examination fee is not refundable for any reason except the following:

- The applicant has failed to submit his or her application form by the prescribed date, or his or her application form has been rejected by the University.
- The applicant has paid the examination fee twice.

A request for a refund should be made promptly.

*For further information about the refund, contact:

Entrance Examination Office
Obihiro University of Agriculture and Veterinary Medicine
E-mail: nyushi@obihiro.ac.jp

Note2: An application will be rejected if the examination fee is not paid.

(3) Guideline of research proposal

You must consult your prospective supervisor before making the research proposal. The proposal must be within one A4 sheet in English. It must include the following three points:

1. Background and purposes of the research (in detail)
2. Outline of research method (You do not need to describe research techniques in detail. Just briefly explain the outline of the whole research procedure.)
3. Expected research results (Detailed description is not necessary. Briefly describe expected results in context of the research purposes.)

*The form for the research proposal is available on our website at <https://www.obihiro.ac.jp/en/grad-adm>

(4) Application method and application period

Enclose all the application documents in the envelope and send it by mail.

The documents must be sent by EMS or registered special delivery mail. **The documents have to arrive by 17:00 on the last day of the application period.** Documents arriving later than this will not be accepted, so be sure to send them early enough to avoid postal delays.

Application Period : From Monday, November 8, 2021 to Thursday, November 18, 2021

(5) Submit the application documents to:

Entrance Examination Office, Obihiro University of Agriculture and Veterinary Medicine
11 Nishi 2, Inadacho, Obihiro, Hokkaido 080-8555, Japan

Note: The application documents will not be returned.

7. Method of Selection

Results from English and interview (about the research proposal, statement of purpose, the academic transcript and the letter of recommendation) will be examined.

| Description | Allotment of marks | Summary |
|------------------|--------------------|--|
| English | 100 | Submit the original certificate of one of the following exams. 80-100 points are given according to our graduate school regulation. The test score must be after April 1, 2019. TOEIC L&R (including TOEIC-IP): 650 or higher TOEFL iBT: 67 or higher IELTS Academic-Module: 5.5 or higher |
| Online Interview | 100 | Personal interview in English by multiple interviewers from the Specialty (about 15 min). |

8. Time and Date of Examination

| Date | Description | Time |
|----------------------------|------------------|----------------------------------|
| Tuesday, November 30, 2021 | Online Interview | To be arranged after application |

9. Notification of Admission

(1) **Schedule : 10:00 a.m., Tuesday, December 7, 2021**

The code numbers of accepted students are displayed on the website (<https://www.obihiro.ac.jp/en>).

- (2) The notification of admission and the documents necessary for enrollment procedures are sent to the admitted students.
- (3) Telephone enquiries regarding admission are not accepted.

10. Enrollment Procedures

- (1) Enrollment period : **From Monday, March 7, 2022 to Tuesday, March 22, 2022**
***The documents have to arrive by 17:00 on the last day.**
- (2) Enrollment fee : 282,000 yen
(Insurance for accidental injury in University activities)
- (3) Fee for disaster/accident insurance for students in education/research: 2,470 yen
(Insurance for accidental injury in University activities)

11. Privacy Statement

- (1) Any personal information we acquire is strictly protected under the "Law on Protection of Personal Information Held by Independent Administrative Agencies" and the "National University Corporation Obihiro University of Agriculture and Veterinary Medicine Management Regulations of Personal Information."
- (2) Personal information such as your name and address that is sent during the application process is used for selection, notification of admission, enrollment procedures, survey and research on selection methods and additional procedures.
- (3) Personal information such as the examination results acquired in the process of selection is used for survey and research on selection and selection methods.
- (4) For successful applicants only, personal information mentioned above in (2) and (3) is also used for the purposes of school affairs (e.g., study guidance) and student support (e.g., scholarship application and tuition exemption application) after entering Obihiro University of Agriculture and Veterinary Medicine.

Description of the Master's Program
Animal Science and Agriculture
Graduate School of Animal and Veterinary Sciences and Agriculture
Obihiro University of Agriculture and Veterinary Medicine

The mission of the Graduate School is to make a contribution to the local and the global communities through the development of practical science through intellectual creation and practice, and by fostering the professionals who will support food production and people's lives. Under such philosophy and purpose, we provide the following education policies:

1. Education Policy of the Master's Program of Animal Science and Agriculture

Admission Policy

The Master's Program of Animal Science and Agriculture at the Graduate School of Animal and Veterinary Science and Agriculture aims to train persons who have strong issue-resolving skills and a wide range of knowledge on animal science and agriculture, specifically in food safety. We implement written examinations on specialized areas and languages, and interviews to evaluate examinees' research plans and abilities in order to recruit students:

1. Who can act with an international perspective and aim to be professionals with highly advanced skills in animal science and agriculture,
2. Who have acquired basic knowledge and skills at the level of undergraduate studies related to the specific topics of the respective Specialties,
3. Who have acquired basic knowledge and skills that enable them to create research plans for the respective Specialties, and
4. Who are extremely interested in issues of food safety, productivity improvement and environmental conservation, and tackle these issues from a perspective of fusing agriculture, animal science, and veterinary science.

Diploma Policy

In the Master's Program of Animal Science and Agriculture, the degree shall be conferred on persons who have taken the courses set up in the curriculum and obtained the required credits to complete the program, who have obtained advanced research skills and wide perspectives that enable them to resolve issues of food safety and other issues in agricultural and livestock science using their up-to-date knowledge and skills in animal science and agriculture such as veterinary life science, animal production, ecology and environmental science, food science, agricultural economics, engineering for agriculture, plant production science, and interdisciplinary fields including these, and who have acquired the following skills:

1. Ethics: Ethics and morals correspondent to social standards and commensurate with a specialist
2. Abilities to identify and resolve issues on their own in life, food, and environmental science while keeping globalization in mind, and resolve them.
3. Communication skills: Presentation skills necessary to explain their process of thinking and making judgments with a global viewpoint.
4. Technical knowledge and skills: knowledge and skills on respective Specialties in this master's program commensurate with advanced professionals, or basic skills commensurate with researchers on issues in respective Specialties, from the perspective of fusing agriculture, animal science, and veterinary medicine.

Curriculum Policy

In order to have the students acquire the knowledge and skills specified in the diploma policy of the Master's Program of Animal Science and Agriculture, we provide education paying attention to the following points:

1. Developing ethics: we offer courses to develop ethics using e-learning.
2. Developing abilities to identify and resolve issues: we offer courses using active learning to brush up logical thinking and develop abilities to identify and resolve issues on securing food safety, improving productivity, and

conserving the environment.

3. Developing practical skills with a global viewpoint: we offer courses to improve skills in making presentations and writing in English so that students acquire the English skills necessary to be globally active. We also offer internships, training abroad, and research presentations, where students can practice the expression and communication skills they have acquired.
4. Forming a rich culture and a broad academic foundation: we offer common general courses, which enable students to acquire a rich culture, and special core courses, which enable them to advance their specialty. At the same time, special courses of other Specialties are offered as elective courses so that students can acquire highly specialized interdisciplinary knowledge.

2. Educational Policies of Respective Specialties

Veterinary Life Science

Persons We Train

We accept students who have completed an undergraduate program other than veterinary medicine, and provide them with knowledge on basic veterinary life science, animal pathobiology, studies of animal infectious diseases, studies of etiology and control of animal diseases, and animal clinical science. We train advanced professionals who can offer a variety of knowledge about animals to society.

Admission Policy

We want students:

1. Who have acquired advanced knowledge, skills, and research abilities on basic veterinary life science, animal pathology, studies of animal infectious diseases, studies of etiology control, and animal clinical science, and who aim to contribute to society from a viewpoint of veterinary life science,
2. Who have acquired undergraduate-level basic knowledge and skills on basic biology and agriculture and animal science,
3. Who can set up research plans on their own in the field of veterinary life science based on basic knowledge and skills in basic biology, and
4. Who can use knowledge and information to logically work through issues in basic biology and agriculture and animal science, and explain the results.

Diploma Policy

The degree shall be conferred on persons who have the following traits and abilities:

1. Ethics: ethics and morals based on knowledge of veterinary life science and deep understanding about social activities
2. Issue-resolving skills: abilities to identify issues on their own in veterinary life science, and resolve them.
3. Good communication skills: presentation and communication skills necessary to precisely express their thoughts and opinions, and exchange opinions in veterinary life science fields while respecting others' thoughts and opinions.
4. Technical knowledge and skills: a wide range of technical knowledge of veterinary life science including basic veterinary life science, animal pathobiology, studies of animal infectious diseases, studies of etiology and control of animal diseases, and animal clinical science, and ability to apply and develop these skills and knowledge in society, based on their knowledge of basic biology, and agriculture and animal science.

Curriculum Policy

We offer courses to learn a variety of specialties related to veterinary life science such as basic studies, pathobiology, infectious diseases, etiology and control of animal diseases, and animal clinical science of companion, industrial, experimental, and wild animals.

Animal Production

Persons We Train

We train advanced professionals who have acquired broad and systematic knowledge and skills in biological functions, breeding, reproduction, nutrition, and management of domestic and other animals, and who can flexibly deal with various issues in livestock and life sciences. We also train researchers who have acquired basic skills that enable them

to study issues in the fields of livestock and life sciences.

Admission Policy

We want students:

1. Who have acquired advanced knowledge, skills and research abilities on domestic animals and their production management, and who intend to contribute to society using their knowledge and skills of life science and livestock science,
2. Who have acquired undergraduate-level basic knowledge and skills in animal production,
3. Who have acquired advanced knowledge, skills and research abilities in livestock and its production management, and who can set up research plans on their own in the field of animal production, and
4. Who can use knowledge and information to think logically about issues on domestic animals and their production management and explain the results.

Diploma Policy

The degree shall be conferred on persons who have the following traits and abilities:

1. Ethics: ethics and morals based on knowledge of animal production and deep understanding of social activities
2. Issue-resolving skills: abilities to identify issues on their own in livestock and life sciences, and resolve them.
3. Communication skills: presentation and communication skills necessary to precisely express their thoughts and opinions, and exchange opinions in the field of animal production while respecting others' thoughts and opinions
4. Technical knowledge and skills: understanding of the physiology and behavior of domestic animals, and possession of systematic technical knowledge and skills from the basics to applications that lead to genetic improvement and improvement in productivity.

Curriculum Policy

We offer courses in which students can gain an understanding of the physiology and behavior of domestic animals not only from a conventional viewpoint of livestock production but also with considerations of animal welfare and ecosystem, and in which students can acquire up-to-date knowledge and skills from basics to application that lead to genetic improvement and improvement in productivity.

Ecology and Environmental Science

Persons We Train

We train advanced professionals who have acquired broad and systematic knowledge and skills in agricultural and livestock environment and the natural environment surrounding it, and who can flexibly deal with various issues about conservation and management and utilization of the environment. We also train researchers who have acquired basic skills that enable them to study issues in the field of environmental science.

Admission Policy

We want students:

1. Who have acquired broad knowledge, skills and research abilities in conservation and management of agricultural and livestock environments, and natural environments, and who intend to contribute to society using their knowledge and skills in ecological and environmental science,
2. Who have acquired undergraduate-level basic knowledge and skills in ecology and environmental science,
3. Who have acquired knowledge, skills and research abilities in conservation and management of agricultural and livestock environments, and natural environments, and who can set up research plans on their own in the field of ecology and environmental science, and
4. Who can use knowledge and information to think logically about issues on conservation and management of agricultural and livestock environments, and natural environments, and explain the results.

Diploma Policy

The degree shall be conferred on persons who have the following traits and abilities:

1. Ethics: ethics and morals based on knowledge on ecology and environmental science and deep understanding about social activities
2. Issue-resolving skills: abilities to identify issues on their own on ecology and environmental science, and resolve them.
3. Communication skills: presentation and communication skills necessary to precisely express their thoughts and opinions, and exchange opinions in the field of ecology and environmental science while respecting others'

thoughts and opinions

4. Technical knowledge and skills: comprehensive and systematic knowledge and skills in roles, functions, and interactions of various organisms that constitute environment, and in conservation, management, and utilization of ecosystems.

Curriculum Policy

We offer courses in which students can, from the perspective of conservation to that of utilization of agricultural and livestock environments, and of the natural environments surrounding them, acquire up-to-date knowledge of the roles, functions, interactions, and relations with agriculture and livestock industry, gain up-to-date knowledge of the animals, plants, insects and microorganisms that constitute the environment, and attain up-to-date knowledge of conservation of ecosystems.

Food Science

Persons We Train

By providing broad and up-to-date knowledge and techniques for production and processing of foods made from agricultural and livestock ingredients, and about the functionality and safety of such foods, and by conducting professional education through practice and research, we train advanced professionals who can play an active role in food industry and bio industry, and also train researchers who have acquired basic skills that enable them to study issues in the field of food science.

Admission Policy

We want students:

1. Who have acquired advanced knowledge, skills, and research abilities in production and processing of foods made from agricultural and livestock ingredients, and in the functionality and safety of such foods, and who intend to contribute to society from a viewpoint of food science,
2. Who have acquired undergraduate-level basic knowledge and skills in food science,
3. Who can set up research plans on their own in the field of food science based on advanced techniques for processing and utilizing agricultural and livestock products, and on knowledge about various functions that foods have, and
4. Who can use knowledge and information to think logically about issues in food production and processing, and in their functionality and safety, and explain the results.

Diploma Policy

The degree shall be conferred on persons who have the following traits and abilities:

1. Ethics: ethics and morals based on knowledge on food science and deep understanding about social activities
2. Issue-resolving skills: abilities to identify issues on their own in food science, and resolve them
3. Communication skills: presentation and communication skills necessary to precisely express their thoughts and opinions, and exchange opinions in food science while respecting others' thoughts and opinions
4. Technical knowledge and skills: advanced knowledge, skills and application for production and processing of foods made from agricultural and livestock ingredients, and about the functionality and safety of such foods

Curriculum Policy

We offer courses to learn broad and up-to-date knowledge and skills for production and processing of foods made from agricultural and livestock ingredients, and about the functionality and safety of such foods, from the molecular level to the level of industrial production.

Agricultural Economics

Persons We Train

By conducting professional education that enables a broad perspective to be taken from a social scientific viewpoint centered on agricultural economy, we train advanced professionals who can offer practical measures to resolve specific issues in food systems, and also train researchers who have acquired basic skills that enable them to study issues in the field of agricultural economics.

Admission Policy

We want students:

1. Who have acquired broad and advanced knowledge and skills in agricultural economics and business related to food production, distribution and consumption, and who intend to contribute to society from a viewpoint of agricultural economics,
2. Who have acquired undergraduate-level basic knowledge and skills in agricultural economics,
3. Who can set up research plans on their own in the field of agricultural economics based on basic knowledge and skills in agricultural economics and business related to food production, distribution and consumption, and
4. Who can use knowledge and information to think logically about issues on agricultural economics and business, and explain the results.

Diploma Policy

The degree shall be conferred on persons who have the following traits and abilities:

1. Ethics: ethics and morals based on knowledge on agricultural economics and deep understanding about social activities
2. Issue-resolving skills: abilities to identify issues on their own in agricultural economics, and resolve them.
3. Communication skills: presentation and communication skills necessary to precisely express their thoughts and opinions, and exchange opinions in the field of agricultural economics while respecting others' thoughts and opinions
4. Technical knowledge and skills: advanced knowledge and skills in agricultural economy in order to utilize local resources and support the improvement of food productivity and food safety

Curriculum Policy

We offer courses in which students can acquire knowledge and skills in the field of economics and business related to food production, distribution and consumption, and sustainable recycling.

Engineering for Agriculture

Persons We Train

By conducting professional education on systematized techniques that make advanced agricultural production techniques compatible with environmental conservation based on theories and practices of engineering for agriculture, we train advanced professionals who can play an active role in the fields of engineering for agriculture and rural communities, and also train researchers who have acquired basic skills that enable them to study issues in the fields of engineering for agriculture and rural communities.

Admission Policy

We want students:

1. Who have acquired knowledge of regional environmental conservation and of production technique improvement that goes together with the environment, based on the background of engineering for agriculture, and who intend to contribute to society from a viewpoint of engineering for agriculture,
2. Who have acquired undergraduate-level basic knowledge and skills in engineering for agriculture,
3. Who can set up research plans on their own in the field of engineering for agriculture based on basic knowledge and skills in production technique improvement and regional environmental conservation, and
4. Who can use their background of engineering for agriculture to think logically about issues in production techniques and regional environment, and explain the results.

Diploma Policy

The degree shall be conferred on persons who have the following traits and abilities:

1. Ethics: ethics and morals based on knowledge of engineering for agriculture and deep understanding about social activities
2. Issue-resolving skills: abilities to identify issues on their own in engineering for agriculture and resolve them.
3. Communication skills: presentation and communication skills necessary to precisely express their thoughts and opinions, and exchange opinions in the field of engineering for agriculture while respecting others' thoughts and opinions.
4. Technical knowledge and skills: advanced knowledge and skills in production techniques and environmental control in order to support the improvement of food productivity utilizing local resources.

Curriculum Policy

We offer courses in which students can acquire advanced knowledge and skills in the fields related to the improvement

of the food production environment by mechanical and biological approaches and approaches using civil engineering techniques, and sustainable recycling and use of regional resources.

Plant Production Science

Persons We Train

By conducting professional education from the basics of laboratory work to fieldwork demonstration on soil management, which supports crop production, breeding and cultivation of field crops and feed crops, pest control, and utilization of grassland, we train advanced professionals who engage in making the foundation for agricultural and livestock industries, and also train researchers who have acquired basic skills that enable them to study issues in the fields of plant production science.

Admission Policy

We want students:

1. Who have acquired advanced knowledge, skills, and research abilities in quantitative and qualitative improvement of plant production based on advanced knowledge of plant physiology, biology and heredity as well as soil, and who intend to contribute to society from a viewpoint of plant production science,
2. Who have acquired undergraduate-level basic knowledge and skills in plant production science,
3. Who can set up research plans on their own in the field of plant production science based on knowledge and skills for improving and producing crop plants, and knowledge and skills in soils and pests, and
4. Who can use knowledge and information to think logically about issues on quantitative and qualitative improvement of plant production, and explain the results.

Diploma Policy

The degree shall be conferred on persons who have the following traits and abilities:

1. Ethics: ethics and morals based on knowledge of plant production science and deep understanding about social activities
2. Issue resolving skills: abilities to identify issues on their own on plant production science, and resolve them
3. Communication skills: presentation and communication skills necessary to precisely express their thoughts and opinions, and exchange opinions in the field of plant production science while respecting others' thoughts and opinions
4. Technical knowledge and skills: advanced knowledge and skills in food production principles and production techniques in order to support the improvement of food productivity utilizing local resources.

Curriculum Policy

We offer courses in which students can acquire advanced knowledge and skills in the field related to quantitative and qualitative improvement of plant production based on advanced knowledge of plant physiology, biology and heredity as well as soil, and sustainable recycling and use of regional resources.

3. Graduate Degree Program of Animal and Food Hygiene

The Graduate Degree Program of Animal and Food Hygiene has been established to train persons who can deal with acquisition and maintenance of the international safety and hygienic standards, which businesses are demanded to meet, as distribution of agricultural products and food beyond nation boundaries is expanding. The program has been developed by making the highly professional education on securing food safety into a graduate degree program that students of any Specialty can take.

The program trains animal and food hygiene specialists with abilities for practice and application, by conducting professional education on management systems for safety and hygiene of agricultural products and other foods in a practical environment that meets international standards.

Students who take this program must take the required and elective courses of this specific program, and the *Studies on Issues of Animal and Food Hygiene* (internship) or the *Special Studies II* of the Specialty they belong to, in addition to the required courses and elective courses common in the master's program.

Note 1: In *Studies on Issues of Animal and Food Hygiene* (4 credits), students study issues through internship at a company for six weeks or longer. Students in this program who write a master's thesis have to take the *Special Studies*

II (4 credits) of the Specialty they belong to.

Note 2: Students in this program are to choose the Master's Degree in Agriculture or the Master's Degree in Animal and Food Hygiene after they have completed their first year.

Graduate Degree Program of Animal and Food Hygiene

Persons We Train

By conducting practical and systematic education for HACCP system specialists, and for developing new processing technology and products aiming to create sixth industry businesses, we help students to acquire knowledge and skills in food safety management systems, and by cooperating with companies, we train persons who can apply their knowledge and skills to actual workplaces.

Diploma Policy

The degree shall be conferred on persons who have acquired advanced and comprehensive knowledge and skills in hygienic management and quality assurance of livestock products and other foods under international safety and hygienic standards, and superior abilities in their practice and application.

Curriculum Policy

We arrange classroom courses in which students learn knowledge and skills in food safety management systems under international hygienic standards in practical and systematic manners. Also, cooperating with companies, we arrange practicums in which students learn to apply their knowledge and skills to actual worksites.

4. Completion of programs and awarding degrees

Students are awarded a degree according to their Specialties after they completed the program, i.e., those who have been enrolled in the Master's Program of Animal Science and Agriculture, Graduate School of Animal and Veterinary Science and Agriculture of our university for two years or longer, and have earned the required credits (30 credits for regular Specialties, 32 credits for the Graduate Degree Program of Animal and Food Hygiene), who received the necessary research instruction, and passed the examination of their master's thesis or result report in addition to the final examinations of the relevant courses. However, for those who achieved excellent results, the period enrolled in the graduate school could be shortened to one year.

| Program | Specialty | Degree |
|--------------------------------|-----------------------------------|--|
| Animal Science and Agriculture | Veterinary Life Science | Master of Veterinary Life Science, or Master of Animal and Food Hygiene* |
| | Animal Production | Master of Agriculture, or Master of Animal and Food Hygiene* |
| | Ecology and Environmental Science | |
| | Food Science | |
| | Agricultural Economics | |
| | Engineering for Agriculture | |
| | Plant Production Science | |

*Those who completed the Graduate Degree Program of Animal and Food Hygiene can choose Master of Animal and Food Hygiene.

5. Supervisors

Veterinary Life Science

| Name | Position | Field of Research | Contents |
|---------------------|---------------------|--|--|
| Makoto Igarashi | Professor | Diseases Control | Parasitism of protozoan parasites |
| Toshiaki Ishii | Professor | Neuropharmacology | Molecular basis of physiological and pathological manifestations in the central nervous system |
| Toru Ishikawa | Professor | Cell Physiology | Cellular regulatory mechanisms and structure-function relationships of ion channels and transporters involved in epithelial transport |
| Haruko Ogawa | Professor | Veterinary Epizootiology | Study on animal viral diseases |
| Shinichiro Kawazu | Professor | Preventive Medicine for Protozoan Diseases | Development of novel vaccines and therapeutic approaches based on functional analysis of the protozoan genome and proteins |
| Xuenan Xuan | Professor | Host Defense | Studies on analysis of host defense immunity and development of recombinant vaccines against protozoan parasite infections |
| Yoshiyasu Kobayashi | Professor | Diagnostic Pathology | Pathogenesis and diagnosis of animal diseases |
| Motoki Sasaki | Professor | Veterinary Anatomy | Functional morphology in vertebrates |
| Hiroshi Suzuki | Professor | Functional Genomics | Analysis of gene function <i>in vivo</i> by transgenic technology and development of reproductive biotechnology |
| Yasuo Nambo | Professor | Equine Reproduction | 1) Research area for theriogenology 2) Reproductive biology, 3) Reproductive endocrinology in horses |
| Yoshifumi Nishikawa | Professor | Infection Immunity | Study on onset mechanism of pathogenic protozoan diseases |
| *Hidefumi Furuoka | Professor | Pathobiological Science | The pathology of neuromuscular disorders and the pathology of infectious diseases (e.g., animal prion diseases, <i>Lawsonia</i> infection) |
| Motozumi Matsui | Professor | Diagnosis and Therapeutics for Reproductive Diseases | Pathophysiology of ovarian and uterine disorder in cow reproduction |
| Naoaki Yokoyama | Professor | Diagnosis for Protozoan Diseases | Epidemiological survey of protozoan disease in domestic animals and development of its control strategy |
| Takahiro Aoki | Associate Professor | Preventive Veterinary Medicine | Development of methods for prevention and early detection of diseases associated with bovine and equine production |
| Masahito Asada | Associate Professor | Infection Control | 1) Study on the mechanism of parasitism 2) Epidemiological survey of protozoan disease |
| Akiko Uemura | Associate Professor | Small Animal Surgery Cardiology | 1) Soft tissue surgery for dogs and cats 2) Cardiology for dogs and cats 3) Research on artificial organs and biomaterials |

The Professor marked with * will retire on March 31, 2023. If you would like to be supervised by him/her, please consult in advance about research instruction.

| Name | Position | Field of Research | Contents |
|------------------------|----------------------------|------------------------------|---|
| Kayo Okumura | Associate Professor | Bacteriology | Molecular mechanisms of bacterial pathogenesis and developments of diagnostic tools for bacterial pathogens |
| Akira Kubota | Associate Professor | Environmental Toxicology | Study on biological effects and mode of action of anthropogenic chemicals |
| Rika Umemiya-Shirafuji | Associate Professor | Tick Biology | 1) Biology of ticks 2) Transmission mechanisms of protozoan parasites in ticks |
| Nao Tsuzuki | Associate Professor | Image Diagnosis | Research on image diagnosis for farm animals |
| Takahito Toyotome | Associate Professor | Veterinary Mycology | 1) Mycosis 2) Mycotoxicosis 3) Food Mycology |
| Toyoko Hiroi | Associate Professor | Pathogenic Bacteriology | Molecular mechanisms of bacterial infections and its pathogenicity. Development of diagnosis and detection methods of bacterial infections. |
| Shinya Fukumoto | Associate Professor | Vector Biology | Infection mechanism of pathogens to the vector invertebrate |
| Kotaro Matsumoto | Associate Professor | Veterinary Internal Medicine | Diagnosis and treatment of infectious diseases of animals |
| Yoshikage Muroi | Associate Professor | Neuropharmacology | Study on the central nervous system for controlling instinctive behaviors |
| Eiki Yamasaki | Associate Professor | Food Hygienics | Management and establishment of detection methods for food-poisoning bacteria. |
| Mitsunori Kayano | Senior Assistant Professor | Biostatistics | Statistics in medicine and agriculture and its applications |
| Daisuke Kondoh | Assistant Professor | Veterinary Anatomy | Morphological and histological studies of vertebrate olfactory organ and brain |
| Keisuke Suganuma | Assistant Professor | Protozoan disease | Development for control strategies for animal trypanosomoses |
| Yohei Takeda | Assistant Professor | Infectious Disease | Study on control of viral infectious diseases |
| Kenichi Watanabe | Assistant Professor | Diagnostic Pathology | Veterinary pathology diagnostic services. Molecular mechanisms of protein-misfolding diseases. |

Animal Production

| Name | Position | Field of Research | Contents |
|------------------------------|---------------------|--|---|
| Keigo Kuchida | Professor | Animal Breeding | Statistical genetics for beef cattle based on objective measurements |
| Masafumi Tetsuka | Professor | Reproductive Physiology | Studies on ovarian physiology, oocyte maturation, fertilization and embryo development in domestic animals |
| Takehiro Nishida | Professor | Animal Feeding | Nutritional physiology and feed evaluation in ruminants |
| Akio Miyamoto | Professor | Animal Reproduction | Immune system for regulating fertility: a cross-talk between sperm/embryo and maternal genital tract |
| Acosta Ayala Tomas Javier | Associate Professor | Animal Production Animal Disease Control | Improving efficiency dairy and beef cattle production. Herd health management. |
| Chiho Kawashima | Associate Professor | Animal Nutrition and Reproduction | 1) Study on metabolic status and reproductive function during the perinatal period. 2) Study on nutritional and metabolic status of dam and fetus. |
| Nobuyuki Kusaba | Associate Professor | Animal Hygiene Dairy Production Medicine | 1) Animal Hygiene: Disease control of calves 2) Mastitis Control: Prevention and therapy |
| Tetsuya Seo | Assistant Professor | Animal Behavior Animal Welfare | Studies on animal behavior and animal welfare |
| Koichi Hagiya | Associate Professor | Animal Breeding | Genetic improvement of dairy cattle based on quantitative genetics |
| Masaaki Hanada | Associate Professor | Livestock Production | Improvement of productivity and sustainability of livestock production based on regional feed resources such as herbage and agricultural byproducts |
| Nobuyoshi Matsunaga | Associate Professor | Animal Physiology | 1) Study on metabolic hormones related to growth 2) Study on intermediate blood metabolites |
| Tatsuhiko Goto | Assistant Professor | Animal Breeding and Genetics | 1) Genetic analyses of phenotypes using a variety of chicken breeds 2) Genetic and environmental factors in egg composition traits |
| Naoki Fukuma | Assistant Professor | Gut Microbiology Animal Nutrition | Study on gut microbes related to animal health and productivity |
| Yuki Muranishi | Assistant Professor | Animal Development | Development and cell fate regulation of domestic animals |

Ecology and Environmental Science

| Name | Position | Field of Research | Contents |
|-------------------|---------------------|-----------------------|--|
| Tatsuo Oshida | Professor | Mammalogy | Ecological and phylogeographical studies of wild mammals |
| Hisashi Yanagawa | Professor | Wildlife Management | Eliminate the conflict between humans and wildlife |
| Yushin Asari | Associate Professor | Wildlife Ecology | 1) Ecological study of arboreal mammals 2) Human-wildlife conflict 3) Road ecology |
| Norikuni Kumano | Associate Professor | Insect Ecology | Behavioral Ecology, Population Ecology |
| Yasushi Hashimoto | Associate Professor | Fungal Ecology | Ecological studies of plants and associated fungi in natural and agricultural ecosystems. |
| Takeo Yamauchi | Associate Professor | Systematic Entomology | 1) Taxonomic study using insect specimens 2) Evaluation of environment using insects as bioindicators 3) Medical and veterinary entomology |
| Takumi Akasaka | Assistant Professor | Conservation Science | 1) Biodiversity Conservation and Ecosystem Service 2) Systematic Conservation Planning Anthropogenic Disturbance and Land-use Strategy |
| Kohei Koyama | Assistant Professor | Plant Ecology | Agricultural and Forest plant ecology, plant-animal interactions (pollination, dispersal, herbivory, defense, etc.) |

Food Science

| Name | Position | Field of Research | Contents |
|-------------------|---------------------|----------------------------------|--|
| Shinya Ikeda | Professor | Food and Biochemical Engineering | Food quality and structure–functionality relationships |
| Takuji Ohwada | Professor | Applied Microbiology | Symbiotic relationship between plant and microorganism |
| Mikio Kinoshita | Professor | Food Functional Chemistry | Food biochemistry of functional lipids |
| Kenichiro Shimada | Professor | Meat Science | Applied studies on meat science / meat processing |
| Jun Watanabe | Professor | Food Functional Chemistry | Mechanistical studies on functionalities of food resources |
| Masayuki Sugawara | Associate Professor | Applied Microbiology | Studies on brewing microorganisms and plant symbiotic bacteria |
| Tadashi Nakamura | Associate Professor | Dairy Science | Applied studies on utilization and processing of dairy products |
| Kyu-ho Han | Associate Professor | Food Science | Research for bioresources on health-function |
| Kenji Fukuda | Associate Professor | Food Science | Studies on functionalities of milk proteins and lactic acid bacteria |
| Nana Mikami | Assistant Professor | Food Science | Meat science, food nutrition |
| Shinji Yamashita | Assistant Professor | Food Biochemistry | Food function of lipids |

Agricultural Economics

| Name | Position | Field of Research | Contents |
|-------------------|---------------------|-------------------------|--|
| Hiroichi Kono | Professor | Agricultural Economics | 1) Economics and Epidemiology 2) Development Economics 3) Livestock Development and Poverty Reduction |
| Yasushi Sembokuya | Professor | Agricultural Economics | 1) Economic analysis on the development of farm level hygiene management 2) Comparative analysis on the distribution system of agricultural products |
| Hiroyuki Iwamoto | Associate Professor | Agricultural Economics | 1) Economic Valuation of the Agricultural Environment 2) Research on internalization of external diseconomies in the livestock industry 3) Research on local resource evaluation |
| Youichi Kawano | Assistant Professor | Agricultural management | 1) Management Capabilities 2) Decision Information Analysis 3) Management Strategy in Traditional Industries |
| Satoko Kubota | Assistant Professor | Agricultural Economics | 1) Economic analysis on food hygiene 2) Harmful rumor and risk communication |

Engineering for Agriculture

| Name | Position | Field of Research | Contents |
|---------------------|---------------------|--|--|
| * Kazutaka Umetsu | Professor | Bioprocess Engineering | Studies on advanced fermentation methods to convert energy and development of methods to utilize nitrogenous compounds for livestock farming |
| * Tadashi Kishimoto | Professor | Agricultural Machinery | 1) Dynamics of traction device of agricultural vehicle 2) Development of application technology for dairy manure slurry |
| Toshimi Muneoka | Professor | Irrigation, Drainage and Rural Engineering | 1) River water quality and land use in agricultural and forest watersheds 2) Slope conservation and revegetation technology |
| Masato Kimura | Associate Professor | Agricultural Meteorology | Use of cold energy from natural ice |
| Fumihito Miyatake | Associate Professor | Bioresource Engineering | Theoretical and technological studies on composting and biomass |

The Professor marked with * will retire on March 31, 2023. If you would like to be supervised by him/her, please consult in advance about research instruction.

Plant Production Science

| Name | Position | Field of Research | Contents |
|--------------------|---------------------|---|--|
| Kiyoaki Kato | Professor | Plant Molecular Breeding | Molecular basis and applied studies on plant breeding |
| Masanori Koike | Professor | Insect Pathology | Biological control using entomopathogenic fungi |
| Masayuki Tani | Professor | Soil Science | Evaluation and improvement on soil fertility in arable land |
| Masahiro Hirata | Professor | Rangeland Ecology Culture Anthropology | 1) Study on rangeland ecology and environmental conservation in dry areas 2) Study on subsistence and milk culture of pastoralists in dry areas |
| Name | Position | Field of Research | Contents |
| Masahiro Akimoto | Associate Professor | Crop Science | Improvement of cultivation methods of common food crops and fodder crops. |
| Kazumitsu Onishi | Associate Professor | Plant Breeding | Genetic studies on quantitative traits in crop species |
| Daigo Aiuchi | Assistant Professor | Applied Entomology | Studies on pest control of pathogen vector insects |
| Jun Kasuga | Assistant Professor | Plant Physiology | Abiotic stress adaptation mechanisms in plants |
| Rintarou Kinoshita | Assistant Professor | Soil Science Environmental Information Science | Evaluation of soil fertility and improvement under arable cropping systems |
| Masahiko Mori | Assistant Professor | Plant Production Science | Study on physio-morphological characteristics in crop plants |

Application and enquiries

Entrance Examination Office,
Obihiro University of Agriculture and Veterinary Medicine.
11 Nishi 2, Inadacho, Obihiro, Hokkaido 080-8555, Japan
Tel: (0)155-49-5321 (direct line) (8:30 a.m. – 5:15 p.m., Monday – Friday)
E-mail: nyushi@obihiro.ac.jp

Obihiro University of Agriculture and Veterinary Medicine Website

Visit our website for further information on admission, faculties and outline of the Obihiro University of Agriculture and Veterinary Medicine.

<<https://www.obihiro.ac.jp/en>>